PHP新書「地震予報」読者の皆様へ
「№1778 長期継続大型地震推定前兆変動」
原稿校了後の前兆変動変化についての続報

続報 № ３９３

2025.02/17 （月曜）17:00 発表

八ヶ岳南麓天文台　電離層モニター観測所　代表：串田嘉男
Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1　研究室 FAX 0551-38-4254

※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、№1778前兆は29年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。№1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。№1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様に№1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024年1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましても、2023年12月31日の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2 に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。№1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。

№1778長期継続変動 2/16.8 中心に CH26・20 にPBF特異出現を観測
「対応地震 2/21±2 発生の可能性有」 に修正

下図２の上基線CH26の楕円で囲んだPBF特異集中出現の部分（極大認識）の時間軸拡大波形

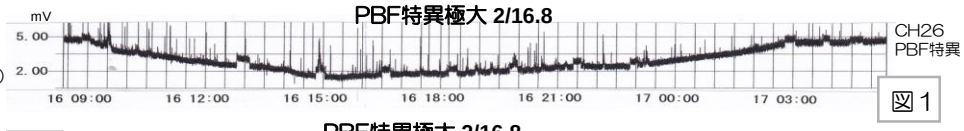
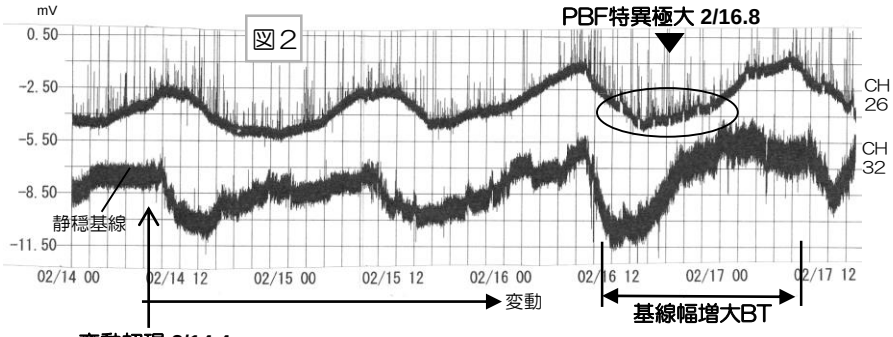
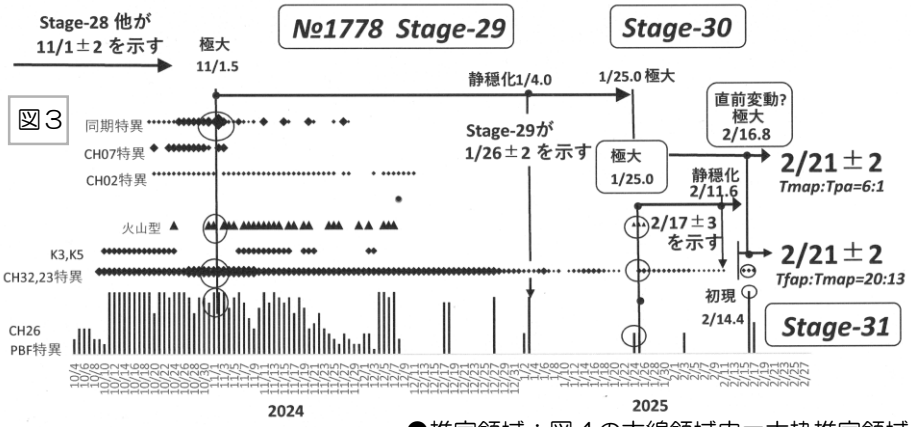


図１

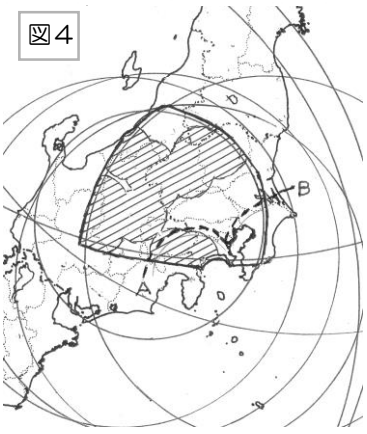


仮に2/21発生の場合はCH32の変動は2/20朝静穏化する可能性



◆前号で1/25極大に対する直前変動を2/15.1の可能性として、2/19±2に対応地震発生の可能性と報告しました。
◆しかし、昨日2/16から本日2/17にかけ、八ヶ岳のCH26（20同期）にPBF特異変動が観測されました。図１参照
◆またCH32の基線変動も図２のとおり、時間軸圧縮しますと、2/14.4から現在まで断続的に変動が見え、CH26にPBF特異が集中出現時間帯から明確に基線幅増大変動が見えます。
◆図３のとおり、Stage-30の1/25極大2/11.6終息の関係は2/17±3を示しています。その示された2/17±3の誤差内の2/16.8にPBF特異極大が出現のため、Stage-30は2/16.8極大を示していた可能性があります。2/16.8極大はStage-31認識です。ちなみに1/25極大に対し、2/16.8極大を直前特異として計算した場合は2/21±2発生の可能性となります。たまたまかもしれません。
◆図２のCH32の変動初現（2/14.4）に対し（2/16.8）極大の関係を経験則Tfap:Tmap=20:13 で計算しますと、対応地震発生は 2/21±2 が計算されます。2/21±2に更なる極大が現れない限りは、2/21.±2に対応地震発生の可能性が示唆されます。現在以降の観測で、さらなる修正が必要な変動が観測された場合は続報します。

図４



A～B弧線以南の可能性は極めて低い

●推定領域：図４の太線領域内＝大枠推定領域
図４斜線域＝可能性が考えやすい推定領域
震央が火山近傍領域を含む可能性高い

●推定規模：主震 M8.0±0.3　または
複合の場合＝M7.3±0.3 ＋ M7.1±0.3 他等
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.) 式で 余震を含まない大型地震の断層長 Lkmが合計で約110～150km程度となる様な複合地震活動の可能性（群発的な活動の可能性も有）
※直近で噴火の可能性が考えられる変動はないため、現状では震央近傍火山の噴火の可能性は考えにくい

●推定時期：２月２１日:±２日（2/21 or 2/22 の可能性考えやすい）
（※仮に上記期間に発生無い場合、2/21±2に極大出現の場合は 再考します）

○推定地震：震源浅い陸域地殻地震
○推定発生時刻：午前09時±2 or 午後06時±3（午前09時±2の可能性若干高い）

※仮に推定に近い活動が生じた場合でも被害が少ないことを祈ります。

C) Copyright 2025 YSBO 八ヶ岳南麓天文台